



平成31年1月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年9月7日

上場会社名 株式会社 ユークス

上場取引所 東

コード番号 4334 URL <http://www.yukes.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 行規

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 品治 康隆

TEL 072-224-5155

四半期報告書提出予定日 平成30年9月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年1月期第2四半期の連結業績(平成30年2月1日～平成30年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年1月期第2四半期	645	0.9	361		212		138	
30年1月期第2四半期	640	23.3	471		486		323	

(注) 包括利益 31年1月期第2四半期 136百万円 (%) 30年1月期第2四半期 320百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年1月期第2四半期	15.99	
30年1月期第2四半期	37.38	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年1月期第2四半期	9,197	3,463	37.7
30年1月期	7,459	3,685	49.4

(参考) 自己資本 31年1月期第2四半期 3,463百万円 30年1月期 3,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年1月期		0.00		10.00	10.00
31年1月期		0.00			
31年1月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年1月期の連結業績予想(平成30年2月1日～平成31年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,419	31.9	276	383.3	360		241		27.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年1月期2Q	11,096,000 株	30年1月期	11,096,000 株
期末自己株式数	31年1月期2Q	2,444,872 株	30年1月期	2,444,871 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年1月期2Q	8,651,128 株	30年1月期2Q	8,651,129 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復、設備投資および雇用環境の改善を背景として緩やかな回復傾向が続いております。その一方で、世界経済においては新興国および資源国の経済減速に対する警戒感の高まりや、EU諸国およびアメリカとアジアの間における通商問題の影響など、景気を下押しするリスクがなお存在しております。

当社グループに関連するエンタテインメント業界では、AR（拡張現実）およびVR（仮想現実）の分野におきましてバーチャルアイドルが話題になりました。また、スマートフォンアプリに代表されるオンラインゲーム分野では、伸び率は以前に比べて緩やかになったものの順調に拡大を続けてきた国内の市場規模が、1兆円を突破しました。

このような状況のもと、当社グループの受託ソフトにおきましては、主力シリーズの最新作「WWE2K18」（Xbox One・プレイステーション4用）が平成29年10月に発売され好調に推移しております。また、次回作「WWE2K19」は、本年10月の発売を予定しております。3Dアクションシューティングゲーム「EARTH DEFENSE FORCE: IRON RAIN」（プレイステーション4用）の開発は、当第4四半期の完了に向けて進んでおります。

自社コンテンツの「AR performers」では、平成30年8月18日、19日にベルサール高田馬場にて4度目となるライブ公演「KICK A' LIVE」を開催しております。同コンテンツにつきましては、当社が開発したAR Live System「ALiS ZERO」（アリスゼロ）を利用したARエンタテインメントの創出を目的に、エイベックス・エンタテインメント株式会社と共同プロジェクトを展開します。アニメ化についてもすでに決定しております。また、「AR performers」は一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会（CESA）が主催するCEDECアワードにおきまして、ゲームデザイン部門の優秀賞を受賞しました。

パチンコ・パチスロ分野におきましては、1タイトルの画像開発プロジェクトが終了しております。

新規案件につきましては、複数のプロジェクトの開発が順調に進んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は645百万円（前年同期比1%増）、経常損失は212百万円（前年同期は経常損失486百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は138百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失323百万円）となりました。

なお、当社グループは、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,738百万円増加し9,197百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金の増加905百万円、売掛金の減少122百万円、仕掛品の増加921百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して1,961百万円増加し5,734百万円となりました。主な要因としては、短期借入金の増加1,100百万円、前受金の増加862百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して222百万円減少し3,463百万円となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純損失138百万円、剰余金の配当86百万円によるものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動においては205百万円の資金を使用（前年同期は833百万円の資金の使用）、投資活動においては10百万円の資金を使用（前年同期は80百万円の資金の獲得）、財務活動においては1,014百万円の資金を獲得（前年同期は535百万円の資金の使用）いたしました。

以上の結果、現金及び同等物は、前連結会計年度末より905百万円増加し6,042百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成30年1月期決算短信（平成30年3月9日公表）において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により記載の予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,136,701	6,042,679
売掛金	304,968	182,577
商品	5,832	5,883
仕掛品	907,004	1,828,446
その他	175,881	212,462
貸倒引当金	△41	△1,371
流動資産合計	6,530,347	8,270,677
固定資産		
有形固定資産	54,777	54,076
無形固定資産	18,455	15,096
投資その他の資産	855,523	857,860
固定資産合計	928,756	927,032
資産合計	7,459,103	9,197,710
負債の部		
流動負債		
買掛金	63	39
短期借入金	2,750,000	3,850,000
未払金	292,250	268,070
未払法人税等	27,134	9,454
前受金	454,746	1,317,567
賞与引当金	98,678	102,963
その他	5,156	35,986
流動負債合計	3,628,029	5,584,081
固定負債		
長期未払金	62,200	62,200
退職給付に係る負債	82,663	87,908
その他	250	250
固定負債合計	145,113	150,358
負債合計	3,773,142	5,734,439
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,902	412,902
資本剰余金	432,218	432,218
利益剰余金	3,545,239	3,320,417
自己株式	△738,303	△738,303
株主資本合計	3,652,056	3,427,233
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,518	32,992
為替換算調整勘定	1,386	3,044
その他の包括利益累計額合計	33,905	36,037
純資産合計	3,685,961	3,463,270
負債純資産合計	7,459,103	9,197,710

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年7月31日)
売上高	640,077	645,638
売上原価	566,987	540,159
売上総利益	73,090	105,479
販売費及び一般管理費	544,688	466,626
営業損失(△)	△471,598	△361,146
営業外収益		
受取利息	23,354	47,934
受取配当金	1,425	890
受取保険金	34,194	-
為替差益	-	99,213
その他	4,113	2,384
営業外収益合計	63,088	150,422
営業外費用		
支払利息	738	1,567
為替差損	77,387	-
その他	331	2
営業外費用合計	78,456	1,569
経常損失(△)	△486,966	△212,293
税金等調整前四半期純損失(△)	△486,966	△212,293
法人税等	△163,548	△73,982
四半期純損失(△)	△323,418	△138,311
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△323,418	△138,311

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年7月31日)
四半期純損失(△)	△323,418	△138,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,090	473
為替換算調整勘定	△1,867	1,658
その他の包括利益合計	3,222	2,132
四半期包括利益	△320,195	△136,179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△320,195	△136,179
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△486,966	△212,293
減価償却費	15,614	14,324
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,365	5,244
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,025	4,240
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△72	1,329
受取利息及び受取配当金	△24,780	△48,825
支払利息	738	1,567
為替差損益(△は益)	76,758	△105,761
売上債権の増減額(△は増加)	125,796	122,390
たな卸資産の増減額(△は増加)	△769,126	△921,492
未払金の増減額(△は減少)	8,206	△24,275
前受金の増減額(△は減少)	127,465	862,821
その他	99,193	70,145
小計	△820,781	△230,584
利息及び配当金の受取額	25,193	47,835
利息の支払額	△721	△1,679
法人税等の支払額	△48,390	△23,182
法人税等の還付額	11,191	1,895
営業活動によるキャッシュ・フロー	△833,508	△205,715
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,406	△9,649
無形固定資産の取得による支出	△1,734	△440
短期貸付金の回収による収入	—	125
長期貸付金の回収による収入	326	326
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
差入保証金の差入による支出	△31,688	△2,156
差入保証金の回収による収入	24,492	1,750
投資活動によるキャッシュ・フロー	80,989	△10,043
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△450,000	1,100,000
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△85,163	△85,597
財務活動によるキャッシュ・フロー	△535,163	1,014,402
現金及び現金同等物に係る換算差額	△78,440	107,334
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,366,123	905,977
現金及び現金同等物の期首残高	4,841,853	5,136,701
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,475,730	6,042,679

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、重要な加減算項目や税額控除項目を考慮して税金費用を算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成29年2月1日至平成29年7月31日)および当第2四半期連結累計期間(自平成30年2月1日至平成30年7月31日)

当社グループの事業は、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。